



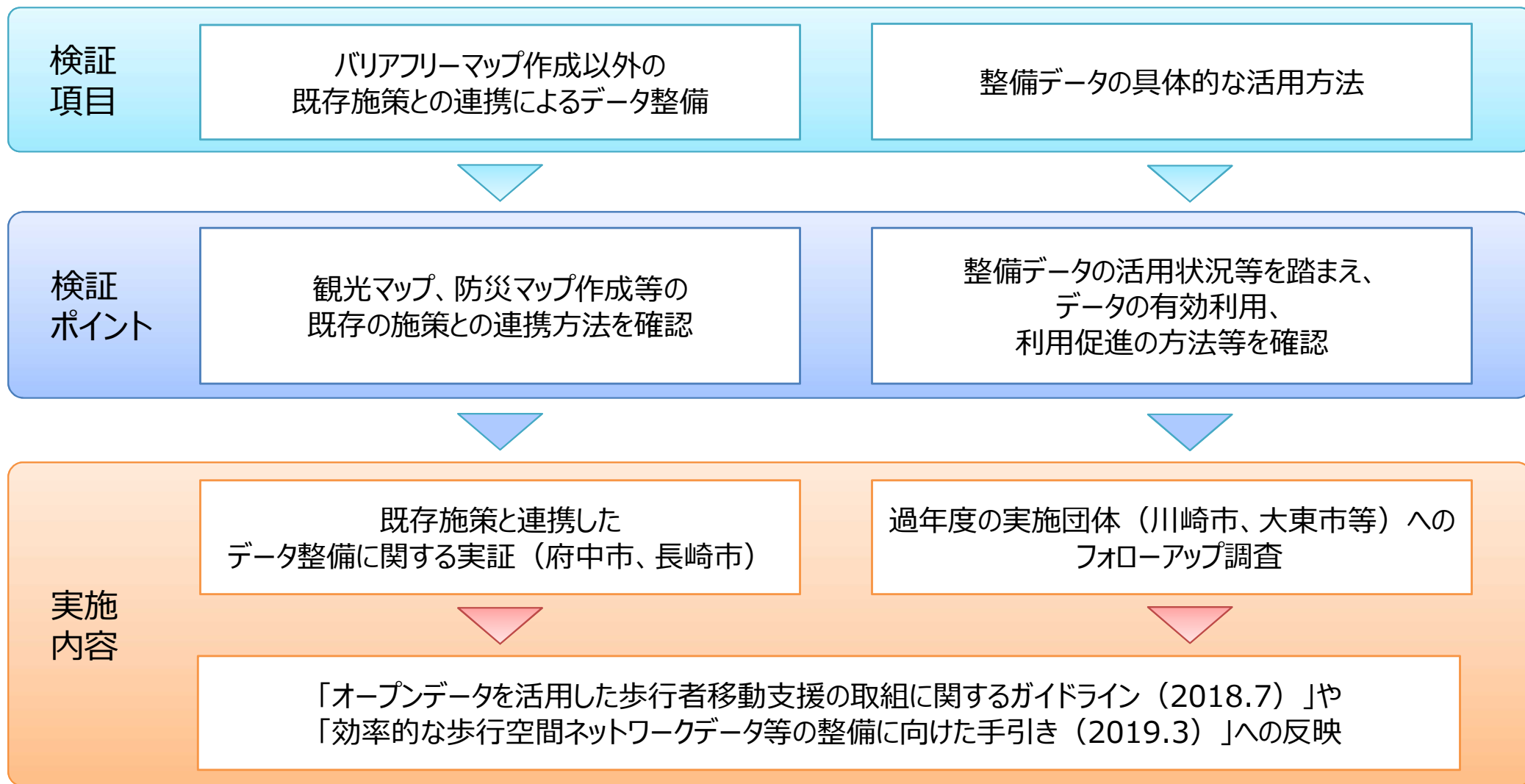
地方公共団体の施策と連携した 歩行空間NWD等の整備推進に向けた取組

令和元年12月

政策統括官付



- 東京都府中市及び長崎県長崎市を対象に地方公共団体が実施する**観光マップ整備等の既存施策との連携による歩行空間ネットワークデータ等の整備、利用促進に関する検証**を実施
- **検証結果等を「ガイドライン」や「手引き」に反映し、内容の拡充をはかる**





実証団体の公募

- 公募期間 : 令和元年 7月1日 (月) ~ 8月9日 (金)
- 対象者 : バリアフリー調査の実績がある、または今後バリアフリー調査等の計画を実施している、市区町村又は社会福祉協議会、観光協会等
- 実施内容 : 既存施策との連携によるバリアフリー調査の方法を検討の上、現地にてバリアフリー情報を収集し、歩行空間ネットワークデータ等の整備を実施。整備したデータの多用途への活用を検討



選定団体

○ 長崎市LRTナビゲーション推進協議会（長崎県立大学、長崎電気軌道(株)、長崎市等で構成）

<既存のバリアフリー調査との連携によるデータ整備・更新に関する検証>

- ・ 産・官・学の連携による歩行空間ネットワークデータ等の整備や持続可能な更新の体制・更新手法の検討
- ・ 地域の長崎県立大学の学生による歩行空間ネットワークデータの整備・更新の可能性の検討

<多用途への活用に関する検証>

- ・ 路面電車のリアルタイム位置情報や観光施設に関する情報を提供するWebサイト（ドコネ）への歩行空間ネットワークデータ搭載による、観光施設への安心・安全な経路情報の提供

○ 東京都府中市（福祉保健部地域福祉推進課）

<既存のバリアフリー調査との連携によるデータ整備・更新に関する検証>

- ・ 地域のNPO等主催の住民参加によるバリアフリー調査等の取組と連携したデータ整備の方法等の検討

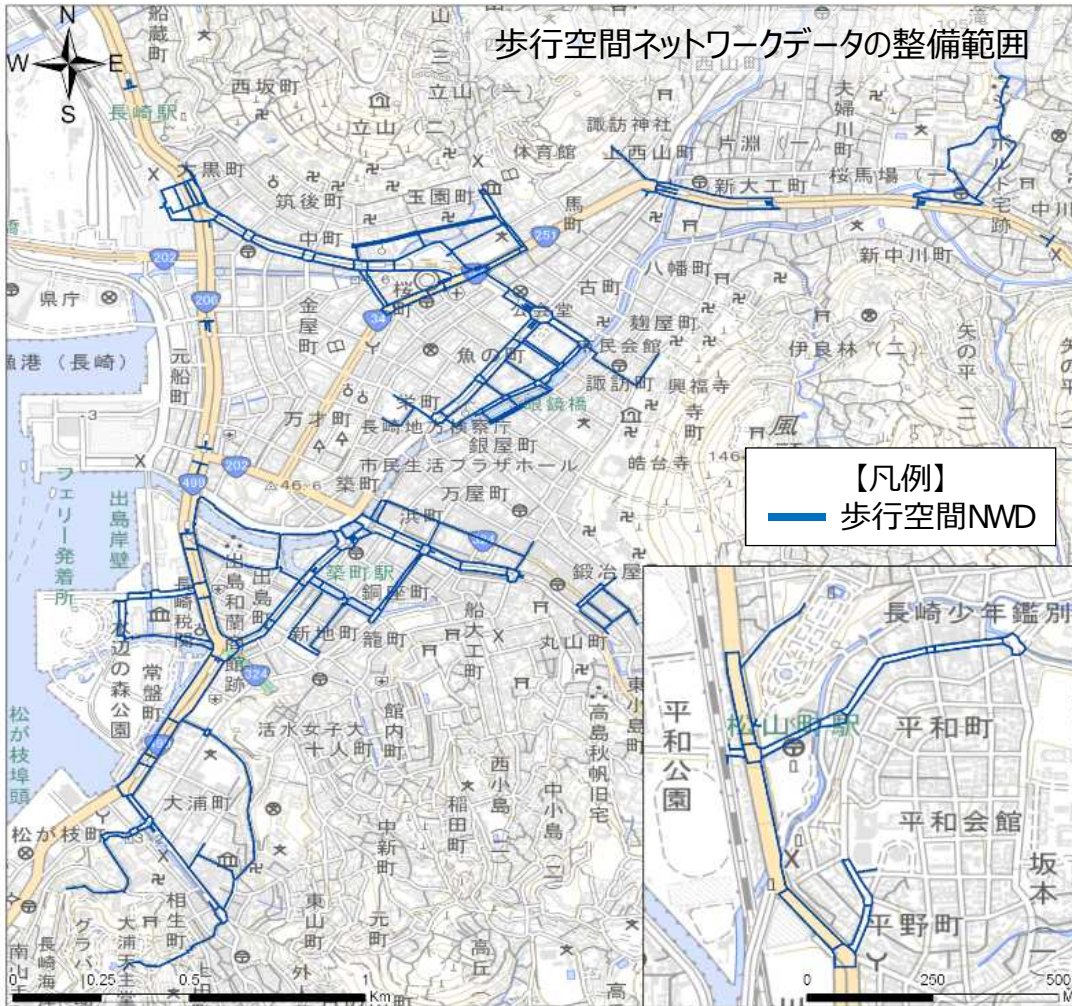
<多用途への活用に関する検証>

- ・ 府中市が目指す「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、住民公開用GISを活用し、歩行空間ネットワークデータ等による、住民等の安心・安全に寄与するバリアフリー情報等の提供



○ 実施状況と今後の予定

- 長崎県立大学の学生12名に対し、歩行空間ネットワークデータの整備方法等に関する講習を授業（ゼミ）の一環として実施。学生が主体となり、週1回程度歩行空間ネットワークデータの整備を実施中
- 学生が整備するデータに加え、主要な観光地と電停を結ぶ経路の歩行空間ネットワークデータを整備するとともに、ドコネ（路面電車低床車運行情報等提供サービス）への経路情報掲載方法を検討中



歩行空間ネットワークデータ整備延長：約26.8km
施設データ整備：16箇所

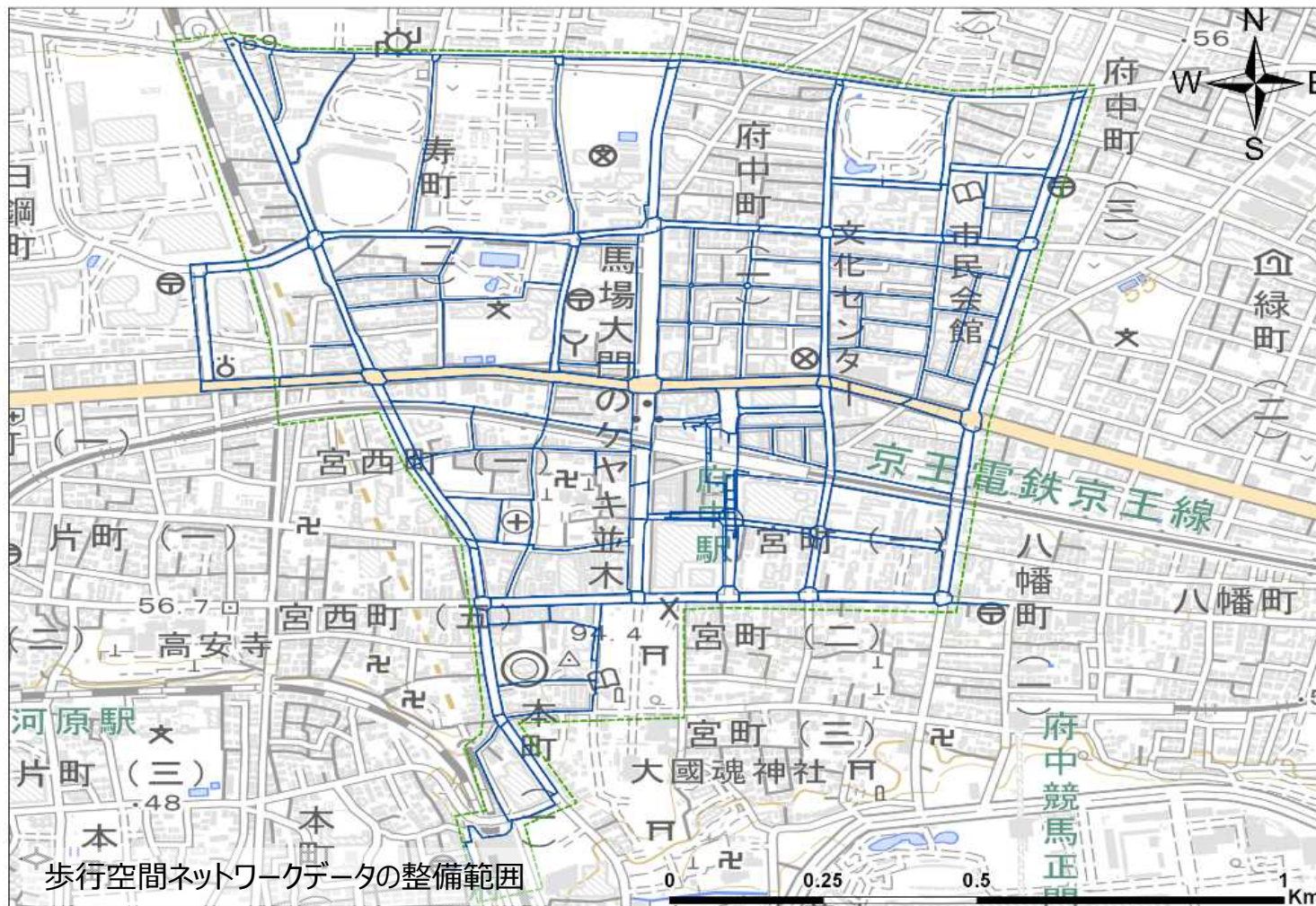
電停から観光地までの経路情報の提供イメージ





○ 実施状況と今後の予定

- 住みよいまちを目指し、歩行空間ネットワークデータと庁内で所有するデータを組合せ、住民等の安心・安全に寄与するバリアフリー情報等の提供内容・方法を検討中
- 歩行空間ネットワークデータ等の活用可能性について、庁内各部署にアンケート調査票を配布し、分野・部門別の既存業務効率化に向けた活用方法を調査中



- 歩行空間ネットワークデータ整備延長：約7.2km
- 施設データ整備：23箇所

- 【凡例】
- 歩行空間ネットワークデータ
 - バリアフリー基本構想重点整備地区



神奈川県川崎市

- 昨年度歩行空間ネットワークデータを整備した川崎駅周辺に加え、市の単独事業として武蔵小杉駅（約30.0km）、新百合ヶ丘駅（約10.0km）の歩行空間ネットワークデータ等の整備を実施中
- 今年度整備したデータを川崎市地理情報システム「ガイドマップかわさき」にバリアフリー情報を掲載し、住民等へ広く周知を図る



川崎市地理情報システム「ガイドマップかわさき」

大阪府大東市

- 昨年度整備した住道駅に加え、市の単独事業として野崎駅周辺地区（約4.0km）の歩行空間ネットワークデータ等の整備を実施中
- 市が公開する既存のバリアフリーマップと民間団体が別途作成するバリアフリーマップへ歩行空間ネットワークデータ等を利用した経路のバリア情報を掲載



経路の情報を記載したバリアフリーマップ